

<金標準、フランスの政治リスクを受けた逃避買い・・・>



(出所：オアシス)

消費者物価指数（CPI）と生産者物価指数（PPI）の低下を受け、インフレ抑制の動きに市場は楽観的な見方が高まる中でも、FOMCにおいてメンバーの経済予測では、3月の年内3回の利下げ示唆から年内1回の利下げ示唆へ引き下げられ、「より高くより長く」を再認識した動きに思える。しかし欧州議会選で、フランス、マクロン大統領が率いる中道政党「再生」をマリーヌ・ルペン氏率いる極右政党・国民連合（RN）が2倍以上の大差で勝利し、マクロン大統領は議会下院を解散し総選挙を実施すると発表している。ただ世論調査では、極右政党・国民連合（RN）が第1党の支持を得て、また左派系政党連合が第2党になる可能性が強まるなど、英国のEU離脱を受けた政治リスクと同様にフランスの政治リスクが高まりを見せており、金標準先物は一時中国要因で大きく反落したが、フランスの政治リスクの高まりが逃避の需要を高める動きに結び付くなど出直り相場の様相を見せ、再度12000円を狙った戻り相場の様相を強めて来ると思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDはMACDが切り上げだし、シグナルも下げるなど強気のクロスが発生に注目され、RCIでも短期が上昇し、中期も上昇している。そのため日足は10日移動平均線が位置する11761円を上回って推移すると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 6 月 17 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 6 月 17 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>